

具体的な取り組みの枠組み

目標

認知症の人の本音(こころの声)を直接聞くことで認知症の人の気持 ちを知り、アセスメントや日常のケアの改善につなげる

期間

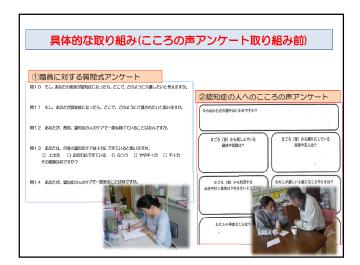
対象

平成29年4月~平成30年5月

法人の全職員

取り組み方法

- ①法人職員に対し、研修前後において認知症に関するアンケート(記 述式)を実施
- 2 認知症高齢者に対して心の声アンケート(聞き取り式)を実施 ③ 認知症の理解を深めるための研修を行う
- ④アンケート結果から抽出した課題に対し各部署で行動計画を立て 実施



具体的な取り組み(事前評価より)

- ・介護職と相談援助職では認知症ケアに対する価値観や捉え方が
- 違っている
 ・介護職は自身の行っている認知症ケアを「ふつう」だと思って いる人が職員の約半数いる
- 利用者へのこころの声アンケート調査では「別になし」の回答 が多い
- ・印象に残っている言葉は特養・デイ・グループホームでは感謝 の気持ち、労いの言葉が多い
- ・居宅・包括支援センター・訪問介護は認知症の 人の生活からの苦悩の表現が多い
- ・困りごとについて社会資源を「つなぐ」「知っ ている」は、介護現場では少ない現状がある



具体的な取り組み(全体研修5月~8月)

5月 多職種協働・チームアプローチ 6月 認知症の人の声を活かしたケアを考える







7月 認知症の人の事例からケアを学ぶ











